

仁(gene)の極意を伝授する～抽出・定量・多型分析～
日本臨床検査自動化学会「技術セミナー」に参加



10月8～10日の3日間にわたり、横浜みなとみらいにあるパシフィコ横浜において、2009年日本臨床検査自動化学会・日本臨床検査医学会共催展示会が開催されました。

PSSは、初日、10月8日の18時から501会議室で行われた「遺伝子・プロテオミクス委員会・技術セミナー」に参加しました。このセミナーは、臨床検査技師に対して「遺伝子検査の意義、手法」についての理解を促す目的で、継続的に開催されているものです。PSSでは、核酸抽出工程を担当し、全自動核酸抽出装置 Magtration System 12GC Plus のデモンストレーション、ならびに新型インフルエンザウイルス検出向けのサンプル前処理方法の説明を行いました。

当日は台風18号の直撃を受け、交通機関の乱れなど大きな影響を受けましたが、臨床系試薬、装置メーカー等から臨床検査技師を中心に約70名が、参加し、活発な交歓がなされました。PSSにとっても、自社の装置を前に、PSSの技術を紹介する機会となり、意義深いものとなりました。

《当日のプログラム》

(以下敬称略)

第1部 講演会 (18:00-19:30)

- (1) 18:00～18:30 演者： 宮村 耕一(名古屋第一赤十字病院血液内科)
- (2) 18:30～19:00 演者： 高橋恭美、菊池春人、斉藤英胤
(慶應義塾大学病院中央臨床検査部、慶應義塾大学医学部消化器内科)
- (3) 19:00～19:30 演者： 安東 由喜雄(熊本大学大学院病態情報解析学分野)

第2部 実習 (19:40～21:00)

司会・コーディネータ： 船渡 忠男(東北福祉大学医療経営管理学科)

[プログラム]

- 1.メーカーによる機器説明 (参加4社)

- 2.機器操作のポイント：核酸抽出, 遺伝子定量, SNP 解析における注意点

- 3.実際に操作：自動核酸抽出装置、Real-time PCR 装置、全自動 SNPs 検査装置
実技指導： 横田 浩充(東京大学医学部附属病院検査部)
南木 融(筑波大学附属病院検査部)
糸賀 栄(千葉大学医学部附属病院検査部)

